



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 常夫
 (氏名) 大滝 正彦

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,840	28.0	474	11.8	476	15.5	304	6.1
26年3月期第2四半期	3,000	△1.1	424	2.2	412	1.4	286	15.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 319百万円 (33.8%) 26年3月期第2四半期 238百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	52.23	—
26年3月期第2四半期	49.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,068	6,171	61.3
26年3月期	9,912	5,951	60.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,171百万円 26年3月期 5,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	6.1	890	△7.6	870	△6.8	530	△40.4	91.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,270,000 株	26年3月期	6,270,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	450,074 株	26年3月期	449,299 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	5,820,681 株	26年3月期2Q	5,822,937 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の

前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり予想当期純利益は自己株式を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げの影響が一時的に見られたものの、その影響は徐々に和らぎ、総じて企業の景況感や設備投資の緩やかな回復基調は継続しております。当社の属する計測器業界においても、設備投資意欲の高まりにより需要に動きが見られ、総じて堅調に推移しました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品を中心として、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスする等、鋭意拡販に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,840百万円(前年同期比28.0%増)、損益面では経常利益476百万円(前年同期比15.5%増)、四半期純利益304百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第2四半期連結累計期間における営業の分野別状況は、次のとおりであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、マルチファンクションジェネレータWF1967/WF1968を上市するなど、継続的な新製品の開発と拡販に努めており、当期においては、ファンクションジェネレータへの需要が高く、また周波数特性分析器やLCRメーターをはじめ全般的に堅調に推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は490百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、直流電子負荷DL3000シリーズや低雑音直流電源LPシリーズを上市するなど、新製品の開発と拡販に努めており、当期においては、コンパクト交流電源や系統連系関連装置用の高機能・高性能な交流電源等が堅調に推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,365百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにして開発したカスタム製品が主ですが、全般的に需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は482百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当期においては、系統連系関連装置が堅調に推移し、また表面処理用を中心とした各種カスタム電源装置も寄与し、総じて好調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は1,289百万円(前年同期比101.5%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および仕入商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は213百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は売上債権、たな卸資産が減少したものの、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度と比較して156百万円増加し、10,068百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、62百万円減少し3,897百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、219百万円増加し6,171百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ434百万円増加し、1,044百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは523百万円の増加となりました。

これは、法人税等の支払291百万円、賞与引当金の減少49百万円などにより減少したものの、税金等調整前四半期純利益469百万円、売上債権の減少267百万円、減価償却費99百万円、たな卸資産の減少43百万円などにより増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは153百万円の減少となりました。

これは、固定資産の取得による支出134百万円、投資有価証券の取得による支出10百万円などにより増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは64百万円の増加となりました。

これは、配当金の支払98百万円、社債の償還20百万円などにより減少したものの、短期借入金200百万円が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米国経済は引き続き底堅い回復が続くと期待されるものの、欧州や中国は緩やかな減速も見込まれるなど、世界経済は、先々やや不透明となることが懸念されます。一方、国内においては、全般的には景気の回復基調は維持され、設備投資の増加が期待されます。

このような状況のもと、当社グループにおいては、環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を引き続き図ってまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション提供活動をなお一層強力で展開してまいります。

なお、業績予想につきましては、前回業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,532,609	2,966,917
受取手形及び売掛金	2,772,554	2,505,105
商品及び製品	505,360	428,910
仕掛品	492,171	595,714
原材料	743,607	672,953
その他	289,548	259,198
貸倒引当金	△10,090	△10,000
流動資産合計	7,325,760	7,418,800
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,340,897	1,341,245
その他(純額)	768,878	748,674
有形固定資産合計	2,109,776	2,089,919
無形固定資産	211,247	260,914
投資その他の資産	265,277	298,797
固定資産合計	2,586,300	2,649,632
資産合計	9,912,061	10,068,432
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	683,542	723,860
短期借入金	21,000	221,000
未払法人税等	296,741	130,846
賞与引当金	312,657	263,506
役員賞与引当金	31,100	—
受注損失引当金	8,000	—
その他	871,741	851,681
流動負債合計	2,224,783	2,190,893
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,143,000	1,135,800
退職給付に係る負債	164,284	162,774
長期末払金	99,592	88,286
資産除去債務	19,370	19,408
その他	209,116	200,055
固定負債合計	1,735,364	1,706,324
負債合計	3,960,147	3,897,218

(株) エヌエフ回路設計ブロック(6864)平成27年3月期 第2四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	4,044,866	4,249,943
自己株式	△199,535	△200,332
株主資本合計	5,932,831	6,137,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,082	34,101
その他の包括利益累計額合計	19,082	34,101
純資産合計	5,951,913	6,171,213
負債純資産合計	9,912,061	10,068,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	3,000,751	3,840,750
売上原価	1,752,876	2,338,991
売上総利益	1,247,874	1,501,759
販売費及び一般管理費	823,519	1,027,416
営業利益	424,354	474,342
営業外収益		
受取利息	632	549
受取配当金	6,332	16,597
その他	4,205	7,208
営業外収益合計	11,171	24,354
営業外費用		
支払利息	15,713	15,943
売上割引	5,157	4,156
その他	1,688	1,817
営業外費用合計	22,559	21,917
経常利益	412,966	476,779
特別利益		
投資有価証券売却益	66,078	—
特別利益合計	66,078	—
特別損失		
固定資産除却損	595	7,568
投資有価証券評価損	240	—
社葬費用	8,377	—
投資有価証券償還損	100	—
特別損失合計	9,313	7,568
税金等調整前四半期純利益	469,731	469,211
法人税、住民税及び事業税	162,546	126,376
法人税等調整額	20,769	38,806
法人税等合計	183,316	165,183
四半期純利益	286,414	304,028

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
四半期純利益	286,414	304,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,943	15,019
その他の包括利益合計	△47,943	15,019
四半期包括利益	238,471	319,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,471	319,048
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	469,731	469,211
減価償却費	79,353	99,432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,209	△516
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,960	△8,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,076	△49,151
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,270	△31,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,425	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△1,510
受取利息及び受取配当金	△6,965	△17,146
支払利息	15,713	15,943
有形固定資産除却損	595	7,568
社葬費用	8,377	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△66,078	-
投資有価証券評価損益(△は益)	240	-
投資有価証券償還損益(△は益)	100	-
長期未払金の増減額(△は減少)	△6,826	△11,306
売上債権の増減額(△は増加)	405,660	267,874
たな卸資産の増減額(△は増加)	△189,182	43,559
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,265	40,330
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,082	7,457
その他	△95,689	△17,001
小計	500,591	815,646
利息及び配当金の受取額	6,965	17,146
利息の支払額	△18,530	△18,435
社葬費用の支払額	△8,377	-
法人税等の支払額	△195,999	△291,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,650	523,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△211,000	-
定期預金の払戻による収入	411,000	-
有形固定資産の取得による支出	△55,890	△49,360
無形固定資産の取得による支出	△44,421	△84,890
投資有価証券の取得による支出	△2,227	△10,651
投資有価証券の売却による収入	110,532	-
投資有価証券の償還による収入	4,000	-
その他の支出	△710	△11,461
その他の収入	1,032	3,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	212,313	△153,257

(株) エヌエフ回路設計ブロック(6864)平成27年3月期 第2四半期決算短信

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△7,200	△7,200
社債の償還による支出	△50,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△852	△796
リース債務の返済による支出	△903	△9,177
配当金の支払額	△86,809	△98,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,233	64,296
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	501,197	434,308
現金及び現金同等物の期首残高	353,244	610,371
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	100,000	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	954,441	1,044,679

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。